

会 議 録

会議の名称		第2回三郷市障がい者計画・障がい福祉計画等懇話会議事録		
開催日時		令和8年6月26日（金）	開 会	10時00分
			閉 会	11時10分
開催場所		三郷市役所東別館 第1会議室		
出席者	委員	（出席人数 9人）氏名（所属団体等） *敬称略		
		森田満理子会長（埼玉県立大学 保健医療福祉学部）		
		高柳幸枝副会長（NPO法人ひまわりの家）		
		石田めぐみ（三郷市基幹相談支援センター）		
		安田悦子（みさと福祉会）		
		山口京子（三郷市障害(児)者連絡協議会 個人会員）		
大久保祐里（三郷市手話サークルさくら草）				
木村まみ（三郷市障がい者地域生活支援協議会）				
曾我卓史（イケア・ジャパン株式会社）				
佐々木る美子（公募市民）				
事務局	事務局	（出席人数 3人）		
		三郷市障がい福祉課 島村副部長兼課長		
		渡邊課長補佐		
		村澤係長		
その他	その他	（出席人数 1人）		
		（株）アールピーアイ栃木 島		
次 第		1. 開会 （1）会長あいさつ 2. 議事 （1）障がい者福祉アンケート（案） 資料1 （2）障がい者福祉関係機関ヒアリング 資料2 （3）今後のスケジュールについて 資料3 3. 事務連絡 4. 閉会		
配布資料		1. 次第及び資料の冊子 ・席次表 ・懇話会委員名簿 ・資料1 三郷市障がい者福祉についてのアンケート（案） ・資料2 障がい者福祉関係機関ヒアリング項目（案） ・資料3 令和8年度スケジュール（案） 2. 令和5年度三郷市障がい者福祉についてのアンケート		

会議の経過	
発言者	発言内容・決定事項
事務局	欠席者の連絡 資料確認
	1. 開会 挨拶：森田会長
事務局	傍聴者についての説明 議事公開についての説明
	※以降、進行は森田会長へ。
事務局	3. 議事 （1）障がい者福祉アンケート（案）について事務局より説明。 ⇒資料1、参考資料参照。
	— 質疑 —
委員	アンケート対象者は、無作為抽出とありますが、障がい種別の内訳はどのように決まるのでしょうか。
事務局	障がい種別ごとの手帳所持の割合で決定しています。前回調査より、精神障がいの手帳所持者が一番増加しているため、増加率も高くなっています。
委員	知的障がいの手帳保持者は少ないのでしょうか。
事務局	複数手帳を所持している方もいますので厳密には難しいですが、三郷市全体の割合としては、知的障がいの手帳所持者が最も少ない状況です。
委員	児童発達支援を利用しているが、3歳未満だと手帳を保持していないお子さんもおります。その層のご意見を伺うのは難しいでしょうか。
事務局	療育手帳を持っていない方でサービスを利用しているが障がい児には多くいると思います。ただ、今回のアンケートについては、障害者手帳保持者が調査対象となっており、保持していない方の意見は反映されない状況です。しかし、今後計画を策定していく中で、全市民対象のパブリックコメントなどを通じて、計画案についてのご意見をいただく機会を設けようと

	考えております。
委員	問 1 で性別についての回答項目に「その他」がありますが、性別を回答することが苦しい方もいますので、令和 5 年度同様「回答しない」があっても良いのではないのでしょうか。
事務局	選択肢を減らすため、「その他」か「回答しない」どちらを削るか検討し「回答しない」を削りました。「男性」「女性」「回答しない」の選択肢に修正ということでよろしいでしょうか。 — 異議なし —
委員	問 23 についてですが、本人目線からのみでなく保護者目線からも考え、「8050 問題」「不登校」「引きこもり」「就労先」に関する項目が選択肢としてあると良いと思いました。
事務局	ご意見いただいた選択肢については、表現方法は事務局にて検討させていただきます。また、今回のアンケート調査はあくまでご本人にご回答いただく目的で設問を作成しており、保護者の方や支援する方のご意見は、自由記述部分にご記入いただくよう記載しております。いただいたご意見については、今後の計画や施策に反映させていきたいと考えております。
委員	WEB 回答の場合、自由記述欄の文字数制限はどれくらいなのでしょう。
事務局	確認をしますが、最大限の文字数は確保させていただきます。 (確認した結果、文字制限なし)
委員	WEB 回答は、回答中に一時保存できますか。
事務局	可能です。後日、続きから入力していただけます。
委員	問 11 についてですが、引きこもりや不登校で通学せずデイサービスに通っている場合があると思います。この場合、どの項目に該当しますか。
事務局	通園、通学に加え「在籍」項目を追加させていただきます。
委員	ありがとうございます。
事務局	(2) 障がい者福祉関係機関ヒアリングについて事務局より説明。

	⇒資料 2、参考資料参照。
	— 質疑 —
委員	ヒアリングは3年前にも実施していますか。また、どのようなところで行っているのでしょうか。
事務局	実施しております。市内の医療機関や、介護の地域包括支援センター、障がいのある方の通っている事業所など全部で 10 か所ヒアリングを行いました。
委員	関係機関についてのお話がありましたが、複数の事業所を利用している方も多くいますので「他事業所」との関係性についての項目があっても良いのではないかと感じました。学校とは連携が取れていても、事業所間では横の繋がりが薄いことも多いので、ヒアリング項目に追加するなどご検討いただきたいと思います。
事務局	聞き逃しのないように追加したいと思います。ご意見ありがとうございます。
会長	調査は項目が非常に大切ですよね。聞き逃しのないように想定質問をしっかりと、会話を通じて更に深い聞き取りをすることが大事だと思います。ヒアリング調査は、複数人で行うのでしょうか。
事務局	複数人で対応します。項目数が多いので、事前に配布し、ご記入いただいた上でヒアリング調査を実施する方向で考えております。
会長	聞き漏れのないように複数人での対応はもちろん、深い部分のお話も伺えるよう事前に配布しておくのはとても大事だと思います。
事務局	対応職員も、しっかり事前打ち合わせをした上で実施したいと思います。
委員	前回の「2. 障がい者への具体的な支援の内容／問題点や課題」は、今回はどの部分に当てはまっているのでしょうか。企業側からすると、この部分をお話するのがメインになってくると思いますので、項目としてあった方が良いのではないかと思います。
事務局	障がい福祉サービスに関係する事業所、企業、団体に聞き取りをしており、

	前回行っていた、障がい者雇用をしている一般企業へのヒアリングは今回想定しておりませんでした。
委員	では、企業側の声はまた別のところで聞き取りを行うのでしょうか。
事務局	今回対象ではなかった一般企業の方の声も拾えるように検討したいと思います。直接的に計画に反映できるかは分かりませんが、施策を進める上で重要だと思いますので、聞き取った内容は精査し、実状や課題、ニーズをしっかりと把握していきたいと思います。対象企業については検討していきたいと思います。
事務局	前回の、「２．障がい者への具体的な支援の内容／問題点や課題」項目については、たしかに強度行動障がい、医療的ケアが必要な方以外の支援を具体的に記載する欄が無いと思いますので、追加を検討したいと思います。
会長	増えすぎても大変なので、必要な内容を含めながらまとめられる部分はまとめていくと良いですね。
事務局	（３）今後のスケジュールについて事務局より説明。 ⇒資料３参照。
	— 質疑 —
会長	全体を通してのご意見、ご質問でも構いません。
委員	アンケート調査の目的はどのように捉えられていますか。前回のアンケート調査を通じて見つかった課題が、今回どのように改善したのかを見ていくための調査だと思います。内容が新しいものになっていますが、残すべき部分は残して継続的に調査し、比較していくというのが大事なのではないかと思います。
事務局	まず、設問数は統合や廃止もあり 50 問から 24 問に減っています。設問の内容としては、前回調査と同様の項目で経年的に比較し状況を比べる設問と、国からの指針で、障がい者が置かれている課題や将来的なニーズを把握し、施策を立てるために参考となるよう新たに設置された設問もあります。 アンケート調査は、アンケートの結果を踏まえ、今の三郷市にはどういった事業が必要なのか分析、把握していくために実施をしております。

	次に、ヒアリングについてですが、事業者数が多くないため、経年的な比較をするというよりは、現状や課題、将来的なニーズを把握するために大きく見直しを行っています。
委員	前回のアンケートの課題はどのように把握されていますか。その課題から、今回のアンケートを通じて、実態がどうなっているのかをみていくのだと思います。アンケートは取るだけでなく、その後の行動を市民に示していかなければならないと思います。
委員	前回のアンケートから見えた課題は、現行計画書の「取りくむべき課題」に記載されている内容ではないのですか。
事務局	アンケートから読み取れる課題と、新たに国からの指針で取り組まなくてはならない課題と両方が組み込まれています。 次に、アンケートの結果からの課題改善ですが、肢体不自由の方の移動支援についてはあまり改善がみられていません。しかし、肢体不自由や医療的ケアが必要な方、強度行動障がいの方を受け入れる事業所は増加し、以前よりサービス提供事業所が選びやすくなってきている現状があります。地域の中で課題解決に努めることで、長い目で見ると変化し改善してきていると思います。 大きく、長い目でみて、どういったことが改善してきているのかをみるためにアンケート調査を実施しています。
委員	今回第7期三郷市障がい福祉計画等でみつかった課題に対しての取組はありますか。
事務局	基幹相談支援センターの設置、計画相談の不足は継続的な課題ですが、解決するために協働体制を作り、相談体制の基盤をしっかりと整えなくてはならないと思います。いくら事業所が増え、サービスが増えても、相談基盤がしっかりしていないと適切な機関に繋がらない、適切なサービスが行われない問題も出てきますので、三郷市としては相談機能充実に取り組んできました。それにより、他のサービスも底上げが出来てきていると感じています。
事務局	1点、補足させていただきます。現計画の課題については、市役所の各課が課題解決に向けた施策を現計画に載せています。毎年度、実績評価を行い、過去の実績を踏まえた上で、次回の計画に課題や施策を新たに記載していくことになります。

委員	先ほど、ヒアリングの部分で、関係団体に一般企業も含めることを検討されとお話がありましたが、ボランティア団体や点字サークルなどは、ヒアリング対象として検討されますか。
事務局	前回のヒアリング対象者として、聴覚障害者協会と一緒に聞き取りをしています。今回も実施するかどうかはこれから設定しますが、事業所だけでなく団体も対象としています。
委員	フランチャイズの事業所は各事業所に聞くのですか。
事務局	そのとおりです。
会長	全ての協議内容が終了しました。 皆さま、ご協力ありがとうございました。
事務局	※以上で議事を終了。以降の進行は森田会長から事務局へ。 3. 事務連絡 議事録は後日送付。(日程も改めて報告) 議事録は市のホームページでも公表。 次回は9月29日(火) 10時から12時予定。 4. 閉会 以上を持ちまして、令和8年度第2回三郷市障がい者計画・障がい福祉計画等懇話会を閉会します。 以上